

特別記事

デジタルコンテンツ EXPO 2019

為ヶ谷 秀一

はじめに

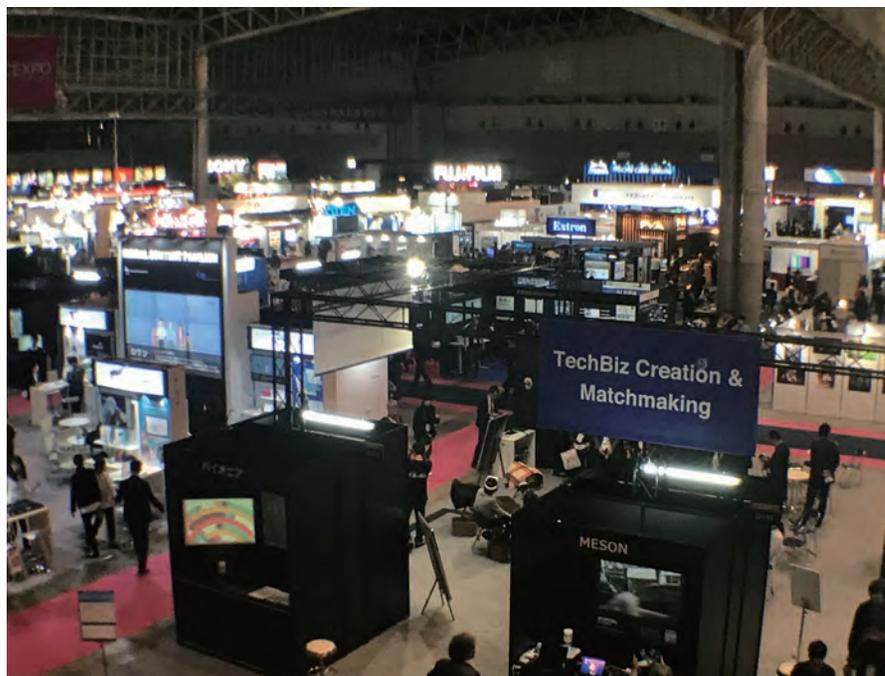
第12回目となるデジタルコンテンツ EXPO (DCEXPO) 2019は、先端コンテンツ技術とデジタルコンテンツをテーマにし、千葉県・幕張メッセにおいて11月13日(水)から15日(金)の3日間にわたり、InterBEE2019と同時開催された国際イベントである。

InterBEEとの同時開催は、昨年に引き続き2回目となり、コンテンツ(動画、音楽、ゲーム等)分野に新しい市場を創り出したスタートアップや、その可能性を秘めた先端技術や、最新コンテンツの展示が行われた。また、第一線で活躍する専門家、研究者、クリエイターとの交流を通して、新しいアイデアに触れ、新しい人と出会い、新たなビジネスやクリエイションの可能性を見出す場として、メディア分野のプロフェッショナルを中心とする参加者の多いInter BEEとの連携により、新しい場を作り出して来ている。

<https://www.youtube.com/watch?v=dwRQEjuN9LE>
「DCEXPO2019ハイライト」

DCEXPO 2019 展示概要

DCEXPO 2019では、展示プログラム「Content & Technology Showcase」(採択件数39件)、イノベーションによって



DCEXPO 展示会場

コンテンツ産業の発展に大きく貢献が期待される技術を発掘・発信する「Innovative Technologies 2019」(採択件数8件)、日本のコンテンツ技術の海外へのビジネス展開を推進するため国内外のビジネスパートナーを発掘する「TechBiz creation & Matchmaking」(採択件数6件)、先進的なトピックをテーマにした新進気鋭の研究者やアーティスト等による「コンファレンス/ピッチ」などが実施された。

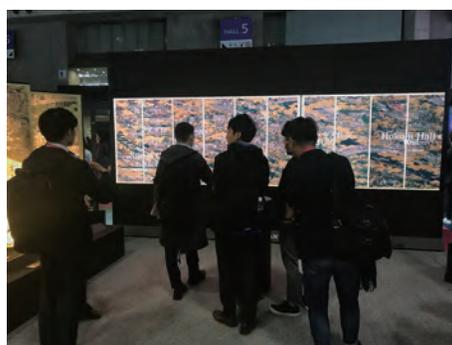
会期中に、「Innovative Technologies 2019」における「CGWORLD賞」と、米国ACM SIGGRAPHの代表者が選ぶ「ACM

SIGGRAPH Special Prize」の二つの賞の選考が行われ、東京大学石川妹尾研究室/東京工業大学渡辺研究室の「液体レンズを用いた高速焦点追従投影システム」がダブル受賞となった。(https://www.youtube.com/watch?v=T-pVMbcXKdA&t=2s) この展示は、来年米国ワシントンで開催されるSIGGRAPH2020のエマーシング・テクノロジー・セッションに招待される。

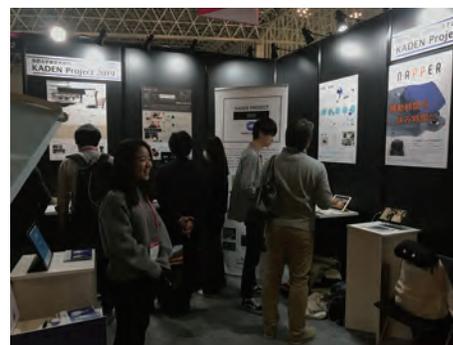
展示会場の各ブース紹介が、以下のURL「DCEXPO TV」に紹介されている。
<https://www.youtube.com/channel/UC6p7znasoTCmLuJiTzre4g>



DCEXPO 会場入り口



展示状況



展示状況



中野信子氏 千住明氏



河口洋一郎氏

オープニング企画・基調講演

1：「ASIAGRAPH2019創賞・匠賞授賞式・トークショー」

今年の創（つむぎ）賞は、作曲家・編曲家・音楽プロデューサーとしてグローバルに活躍し、日本アカデミー賞優秀音楽賞など多数受賞されている千住明氏が受賞。また、匠（たくみ）賞は、脳科学者、医学博士、認知科学者として脳や心理学をテーマに研究・執筆活動を積極的に行い、科学の視点から人間社会で起こり得る現象及び人物を鋭く読み解く中野信子氏が受賞した。二人の受賞者と共に、河口洋一郎氏（東大名誉教授/アーティスト）により、【アートとサイエンスが創出する新たなコスモス】をタイトルとするトークセッションが行われた。

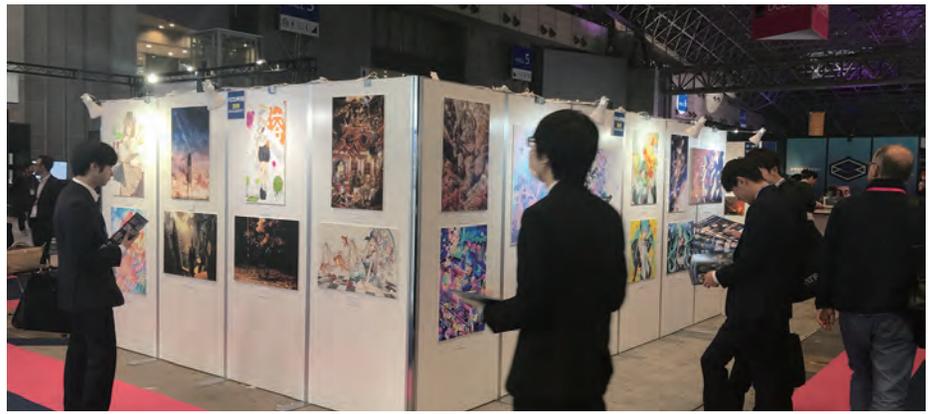
2：SIGGRAPH 招聘特別セミナー

【人に寄り添うCG/VFXによる映像表現】

人の感情をコンピュータで表現する新しいテクノロジーの研究が進んでおり、CG映像による表現の領域も、大きく広がって来ている。

このセッションでは、ACM・SIGGRAPHの対外関係チェアである Diana Arellano 氏が、人間の感情とコンピュータの関りをテーマとする Affective Computing について解説する共に、Arellano 氏が携わる CGI プロダクションで取り組まれている CG & VFX について、最新の映像作品が紹介された。

そして、「NHK スペシャル 恐竜超世界」のCG/VFXスーパーバイザーを務める



ASIAGRAPH CG アートギャラリー



Arellano 氏



松永孝治氏



為ヶ谷秀一氏

NHKの松永孝治氏により、「恐竜超世界」のCG/VFX制作の状況を中心に、番組制作の中で蓄積されてきたCG制作活動が紹介された。二人を交えて、CGによる感情表現やインパクトのある映像表現など、人に寄り添うCG/VFX制作への取り組み方について、元女子美術大学院教授の為ヶ谷秀一氏をモデレーターするパネル討論が、聴講者を交えて行われた。

3：基調講演

【神経美学と対話するデジタルコンテンツの未来】

「メディアコミュニケーションにおける新たな枠組みと可能性を展望する」をテーマとする基調講演が行われた。

- ・石津智大氏（ロンドン大学ユニバーシティカレッジ 生命科学部 生物化学科・シニアリサーチフェロー 博士（心理学））
- ・河合隆史氏（早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 表現工学科・教授 博士（人間科学） 認定人間工学専門家）

おわりに

この他にも、Inter BEE IGNITION との連携企画による「日米 VR 最新研究紹介」や、「VTuber 東雲めぐトークショー」などと共に、会場内ではビジネスマッチングなど多くのイベントが行われていた。

また、「ASIAGRAPH CG アートギャラリー」では、採択されたCGで制作された「静止画作品」「動画作品」「学生制作作品」「子ども制作作品」など、4部門に分かれて、入選した優秀作品の展示も行われた。

DCEXPO は、InterBEE と連携することにより、新しい風を吹かせてくれるものと期待している。

謝辞 資料提供 一般社団法人デジタルコンテンツ協会（DCAJ）

Hideichi Tamegaya
メディア・テクノロジー・コンサルタント